

令和4年度 第3回 坂出市中小企業・小規模企業振興会議 会議録

日時：令和4年12月14日（金）午前10：00～11：30

場所：坂出市役所本庁舎3階 中会議室2

<会議次第>

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 具体的施策について
4. 閉会

<出席委員>

15名

<委員意見>

○坂出市中小企業・小規模企業 振興ビジョンの修正案について

・異議なし

○具体的施策について

（基本方針1）

- ・商工会議所としても、健康経営等に先進的に取り組んでいる企業が多くいらっしゃるの
で、そのような事例を共有しながら、連携して進めていきたい。また、商工会議所だけ
ではなく、各団体の中でも熱心な議論が行われていると思うので、企業間の交流やミーテ
ィングの機会を設けてほしい。
- ・施策の中で実証実験を行う予定はあるのか。また、ベンチマークとするような先行事例は
あるのか。
→いくつか想定している先行事例（岡山県奈義町等）はあるが、必ずしも前例が必要であ
るとは考えていない。前例がない場合などに実証実験等を活用しながら、スモールスター
トさせていく必要がある。
- ・支援という言葉が多く見られるが、誰が支援するのかが見えてこない。若年層に対する起業
支援が最も大事であると思う。行政は発信力が弱いので、アプリのような時代に沿った発
信方法を模索する必要がある。
- ・流れを聞くと理解はできるが、企業がコスト、人材、IT対応に直面し大変な中で、「健や
かに幸せに」という表現は現状の即していないのではないかと。もっと地域内の全ての主体
ががんばる意識が表れる言葉があってもいいのではないかと。
→中期目標を定めるなど、様々な可能性を検討していきたい。
→最終目標はこころ変えずに基本施策で短期的な目標を目指すべきである。
- ・健幸のまちづくりの方向性によって、アンケートで表面化した課題が全て解決できるとは
思えない。まちが賑わうことで個人事業主のような事業者も潤うので、健幸では賑わいと
いう視点が欠けているのではないかと。

→企業支援を通じてまちづくりに寄与していきたいと考えている。既存の健幸の概念に捕らわれる必要はないと思っている。

- ・アンケートの中で、コロナへの対応をしていない事業者が多いということは、どこに助けを求めたらいいのか分からない企業が多いということだと思います。情報発信やPRの方法は、全体を通して検討していくべきだと思います。
- ・地域全体を見た時にアンケート結果よりも状況は悪化しているのではないかと思う。行政だけではなく地域の支援機関が一体となって取り組んでもらいたい。
- ・振興会議のメンバーは各自がネットワークを持っているので、振興会議のネットワークそのものを活用して、支援体制として情報発信していくことは良いと思う。
- ・補助金に頼らない企業支援を目指している県内自治体もある。ワークショップ等の仕掛けが必要だと思う。
- ・ヘルスケアの施策では、既存の企業の取り組みに合わせて、行動変容をどのように促すかが重要となってくる。
- ・アンケート結果について、掘り下げは行うのか。現状では分析が足りないのではないか。
→具体的な施策を考える際に、必要に応じて行う予定である。
- ・施策を考える際に、基本指針の中で具体的なイメージを示してほしい。
- ・基本的な方向性は問題ないと思う。後は具体的な内容を盛り込んでいく必要がある。アンケートは全体的に元気がない印象を受ける。

○今後の方向性

- ・今回の意見を基に、振興ビジョンの修正を行う。
- ・基本施策ごとにワーキンググループを開催し、具体的施策を検討する。
- ・第3回会議では、具体的施策を議論する。